



【学校教育目標】 夢をえがき 計画を立て 行動する 児童の育成

家庭と学校の絆

月桂樹



令和7年度夏休み号
戸田市立新曽小学校
Tel 048-442-2774

主体性を育むために

校長 筒井 陽子

37日間の夏休みを終え、子供たちの元気な声が学校に戻ってきます。25日からは、前期後半がスタートします。

今年の夏は、テレビや新聞等で連日のように「記録的な暑さ」という言葉が報道されていましたが、体調を整え充実した夏休みを過ごすことはできたでしょうか。夏休み前朝会では、「終わりから考えよう。夏休み中にやりたいことやできるようにしたいことを決め、それに向けて、やることリストをつくり毎日続けましょう。」と子供たちに話をしました。子供たちからいろいろな話を聞けることを楽しみにしています。

さて、本校では「夢をえがき 計画を立て 行動する児童の育成」という学校教育目標のもと、「自分がやりたいことを 自分で見つけて 自分でどんどん挑戦する児童」を目指し、非認知能力の育成に努めています（学校だより7月号掲載）。そこで、前期後半から主体性の育むために「7つの習慣」（スティーブン・R・コヴィー著）をもとにしたリーダーシップ・プログラムを導入していきます。

まず、夏季休業中に我々職員が、フランクリン・コヴィー・エデュケーションと連携したリーダー・イン・ミー研修を実施しました。この研修では、グループ協議を通して、「主体性を育むためには、・自分のものの見方や考え方（価値観）を客観的に捉えること、・自分の行動に責任をもち、深く考え選択し、自分の内面にある価値観で自分をコントロールして行動することが重要であること」などを共有しました。

そして、これらをどのように子供たちと共有し、一人ひとりの主体性を育成していくかを話し合いました。プログラムを活用したり、子供たちに分かりやすいキーワードを決めたり、学校共通の掲示物を作成したりしながら、各教科等と関連付けリーダーシップ教育を深めていきます。リーダーシップを育む過程を通して、子供たち一人ひとりの価値や可能性を引き出し、子供たちが「もっとやりたい」「やってみたい」と主体的に授業や学校行事等に取り組むことができるように、職員一同指導力の向上に努めてまいります。

また、夏休み明けの8月28日(木)・29日(金)の6年生の栃木県日光市方面への修学旅行を皮切りに、各学年での校外学習や学校行事が計画されています。どの活動も「毎年やっているから」行っているのではなく、その活動をとおして「子供たちが成長」することを目指しています。残暑も厳しい折、健康面や安全面に十分考慮し、各教科等との学習と結びつけながら、取り組んでまいります。保護者の皆様には、お子様の体調管理や準備等お手数おかけいたしますが、御理解と御協力いただきますようよろしくお願いいたします。